



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 オカモト株式会社

上場取引所 東

コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高島 寛

TEL 03-3817-4121

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	50,959	9.8	4,767	53.6	6,006	51.0	4,578	81.9
2023年3月期第2四半期	46,421	4.3	3,103	31.3	3,977	23.4	2,517	22.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 9,169百万円 (78.2%) 2023年3月期第2四半期 4,879百万円 (21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	260.22	
2023年3月期第2四半期	138.39	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	136,375	86,994	61.5
2023年3月期	127,176	79,099	59.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 83,886百万円 2023年3月期 75,995百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		55.00		55.00	110.00
2024年3月期		55.00			
2024年3月期(予想)				55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	7.0	8,900	29.0	10,300	30.0	7,000	43.1	397.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	18,099,367 株	2023年3月期	18,599,367 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	545,170 株	2023年3月期	992,372 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	17,594,223 株	2023年3月期2Q	18,188,058 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類に移行し、社会・経済活動の正常化の動きから、雇用・所得環境が改善するなかで、個人消費の増加基調が維持されました。また、エネルギー価格の高騰や物価の上昇が続いたものの、人流の増加やサプライチェーンの正常化もあり、景気は緩やかに持ち直しました。

一方で、世界的な金融引締めや、インフレによる景気下振れリスクの高まり、中東情勢の緊迫化や中国の不動産不況など、海外経済の動きには注意が必要であり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経営環境のなか当社グループは、事業環境の変化に柔軟に対応しながら、積極的な国内外の営業活動及びコスト増に対応した価格改定を実施するとともに、原材料の安定的な調達と生産性向上に向けた業務改善の徹底、働き方改革の推進、製品やサービスの品質を向上させるための品質マネジメントシステムの充実、生産・供給体制の拡充に向けた取り組みに努め、引き続き競争力の強化に向けて取り組んでまいりました。

結果、当連結会計年度における売上高は50,959百万円（前年同期比9.8%増）となりました。営業利益は4,767百万円（前年同期比53.6%増）、経常利益は6,006百万円（前年同期比51.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,578百万円（前年同期比81.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 産業用製品

一般用フィルムは、ホームセンター向け需要が減少し売上減となりました。工業用フィルムは、半導体関連の荷動きが再開し売上増となりました。建材用フィルムは、銅板用の需要が減少し売上微減となりました。多層フィルムは、食品用が復調傾向にありますが、工業材料用の需要減少及び医療用の流通在庫過多により売上減となりました。壁紙は、市況は厳しく需要は低迷しておりますが価格改定の影響で売上増となりました。農業用フィルムは、作物価格が長期低迷し生産者コストの上昇により厳しい販売環境ですが、価格改定の影響により売上前年並みとなりました。自動車内装材は、各自動車メーカーの生産台数が回復基調にあり、また、新車種受注の影響により売上大幅増となりました。フレキシブルコンテナは、大口受注の影響で売上増となりました。粘着テープは、梱包用の販売は堅調でしたが、産業用の需要が減少し売上減となりました。工業テープは、電材用及び車輛用部材の流通在庫過多の影響により売上減となりました。食品衛生用品は、業務用ラップは消費者の買い控えの影響により売上前年並みとなりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、漁獲高不安定の影響により食品加工向けが減少し売上減となりました。研磨布紙等は、半導体向けの研磨材の売上が大幅に伸長したことにより売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は34,196百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は825百万円（前年同期は115百万円のセグメント損失）となりました。

#### ② 生活用品

コンドームは、外出者の増加及び訪日客の増加に伴い売上増となりました。また、海外向けも引き続き好調に推移いたしました。浣腸は、卸店の在庫調整及び輸出向けの納期変更の影響で売上減となりました。除湿剤は、梅雨時期の降水量が多く店頭販売が好調に推移し売上増となりました。カイロは、残暑の影響で販売店への店頭導入が遅れたため売上減となりました。手袋は、医療用は流通在庫過多の影響により減少しましたが、産業用は新規採用の増加により売上前年並みとなりました。メディカル製品のうち滅菌器は、コロナ禍の反動により売上減となりました。ブーツ及び雨衣は、雨衣の取扱いを縮小、また猛暑の影響により売上減となりました。シューズは、客足は徐々に戻りつつありますが猛暑の影響により店頭販売が振るわず売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は16,619百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は4,820百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

#### ③ その他

その他事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高（振替前）は1,705百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は198百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は136,375百万円で、前連結会計年度末と比べ9,199百万円増加しております。

流動資産は80,685百万円で、前連結会計年度末と比べ2,321百万円の増加となりました。これは主として、売掛金が1,851百万円増加したことによるものです。

固定資産は55,689百万円で、前連結会計年度末と比べ6,877百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が4,643百万円増加したことによるものです。

### ② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は49,380百万円で、前連結会計年度末と比べ1,304百万円増加しております。

流動負債は36,130百万円で、前連結会計年度末と比べ200百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が272百万円減少したことによるものです。

固定負債は13,250百万円で、前連結会計年度末と比べ1,504百万円の増加となりました。これは主として、繰延税金負債が1,511百万円増加したことによるものです。

### ③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は86,994百万円で、前連結会計年度末と比べ7,895百万円増加しております。これは主として、その他有価証券評価差額金が3,155百万円増加し、自己株式が1,717百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績および最近の業績動向を踏まえ、2023年8月4日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年11月10日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,221	34,994
受取手形	2,097	1,853
売掛金	17,444	19,296
電子記録債権	7,802	7,584
商品及び製品	8,564	8,863
仕掛品	2,570	2,556
原材料及び貯蔵品	3,825	3,859
その他	1,878	1,716
貸倒引当金	△41	△39
流動資産合計	78,364	80,685
固定資産		
有形固定資産	20,997	22,707
無形固定資産	1,066	1,543
投資その他の資産		
長期性預金	1,300	1,300
投資有価証券	23,930	28,574
長期貸付金	930	1,011
繰延税金資産	156	162
その他	435	396
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	26,747	31,439
固定資産合計	48,812	55,689
資産合計	127,176	136,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,578	23,306
電子記録債務	2,088	2,083
短期借入金	3,318	3,363
未払法人税等	1,081	1,012
賞与引当金	1,037	1,106
製品保証引当金	72	56
その他	5,153	5,201
流動負債合計	36,330	36,130
固定負債		
長期借入金	100	100
繰延税金負債	3,666	5,177
退職給付に係る負債	7,209	7,219
その他	769	752
固定負債合計	11,745	13,250
負債合計	48,076	49,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	555	562
利益剰余金	52,115	53,772
自己株式	△4,078	△2,361
株主資本合計	61,639	65,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,774	14,930
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	2,526	3,877
退職給付に係る調整累計額	54	55
その他の包括利益累計額合計	14,355	18,865
非支配株主持分	3,104	3,108
純資産合計	79,099	86,994
負債純資産合計	127,176	136,375

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	46,421	50,959
売上原価	36,372	39,264
売上総利益	10,048	11,694
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,738	1,613
その他の販売費	1,197	1,275
給料及び賞与	1,715	1,666
賞与引当金繰入額	367	374
退職給付費用	85	61
その他の一般管理費	1,841	1,935
販売費及び一般管理費合計	6,944	6,926
営業利益	3,103	4,767
営業外収益		
受取利息	20	29
受取配当金	449	499
不動産賃貸料	271	270
為替差益	336	491
その他	76	74
営業外収益合計	1,155	1,366
営業外費用		
支払利息	17	17
不動産賃貸費用	62	56
持分法による投資損失	132	1
その他	69	53
営業外費用合計	281	128
経常利益	3,977	6,006
特別利益		
固定資産売却益	2	-
投資有価証券売却益	-	11
為替換算調整勘定取崩益	277	-
関係会社出資金譲渡益	649	-
特別利益合計	929	11
特別損失		
固定資産除却損	0	2
減損損失	663	148
投資有価証券評価損	38	-
子会社整理損	2	-
その他	-	7
特別損失合計	705	158
税金等調整前四半期純利益	4,201	5,858
法人税、住民税及び事業税	1,566	1,117
法人税等調整額	△247	106
法人税等合計	1,318	1,224
四半期純利益	2,882	4,633
非支配株主に帰属する四半期純利益	365	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,517	4,578



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,882	4,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	3,167
繰延ヘッジ損益	24	5
為替換算調整勘定	2,411	1,355
退職給付に係る調整額	2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△255	5
その他の包括利益合計	1,997	4,535
四半期包括利益	4,879	9,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,619	9,088
非支配株主に係る四半期包括利益	260	80

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,201	5,858
減価償却費	1,145	1,424
減損損失	663	148
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57	68
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	74	1
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△29	△15
受取利息及び受取配当金	△470	△529
支払利息	17	17
為替差損益 (△は益)	△5	△2
持分法による投資損益 (△は益)	132	1
固定資産売却損益 (△は益)	△2	-
固定資産除却損	0	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△11
投資有価証券評価損益 (△は益)	38	-
子会社整理損	2	-
関係会社出資金譲渡益	△649	-
為替換算調整勘定取崩益	△277	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△981	△866
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,056	105
その他の資産の増減額 (△は増加)	△378	185
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,367	△1,037
その他の負債の増減額 (△は減少)	△89	△346
その他	30	5
小計	3,785	5,005
利息及び配当金の受取額	725	523
利息の支払額	△17	△17
法人税等の支払額	△840	△1,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,651	4,366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,635	△1,405
定期預金の払戻による収入	1,635	1,105
長期性預金の預入による支出	△1,300	-
持分法の適用範囲の変更を伴う関連会社持分譲渡による収入	2,273	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,046	△3,033
有形及び無形固定資産の売却による収入	5	0
投資有価証券の取得による支出	△10	△9
投資有価証券の売却による収入	-	11
その他	△7	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,085	△3,334

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△170	75
長期借入れによる収入	100	-
長期借入金の返済による支出	△145	△42
配当金の支払額	△1,008	△968
非支配株主への配当金の支払額	△13	△21
自己株式の取得による支出	△904	△238
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△47
その他	△486	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,628	△1,292
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,272	733
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,210	473
現金及び現金同等物の期首残高	31,810	32,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,020	33,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式500,000株の消却を実施しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式が1,956百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,071	16,263	46,334	86	46,421	—	46,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	271	335	1,688	2,024	△2,024	—
計	30,134	16,535	46,670	1,775	48,445	△2,024	46,421
セグメント利益又は損失(△)	△115	4,101	3,985	179	4,165	△1,061	3,103

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,061百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,083百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品」及び「生活用品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失663百万円を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「産業用製品」620百万円、「生活用品」42百万円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,196	16,619	50,816	142	50,959	—	50,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	264	326	1,562	1,888	△1,888	—
計	34,258	16,884	51,142	1,705	52,848	△1,888	50,959
セグメント利益	825	4,820	5,645	198	5,843	△1,075	4,767

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,075百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,097百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品」及び「生活用品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失148百万円を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「産業用製品」120百万円、「生活用品」28百万円となっております。